

令和元年度 第2回南丹市男女共同参画社会推進委員会  
議事概要

日 時	令和2年3月3日(木) 午前10:00~11:30
場 所	南丹市役所 4号会議室
出席者	(順不同敬称略) 【委員】大坪委員長 野中副委員長 清水委員 栗原委員 大嶋委員 西岡委員 中村委員 矢野委員 芦田委員 【事務局】人権政策課 平井課長 奥村課長補佐 田中係長
欠席者	3名
傍聴者	なし
協議事項	第2次南丹市男女共同参画行動計画ヒアリング結果について

## 1. 開 会

## 2. あいさつ

委員長 おはようございます。コロナウイルスが発生している時期でもあり、この会議も心配していました。京都で開催された会議でも要点だけ説明があり早々に終わられた会議もありました。みんなが敏感になっている。敏感になることも大事であるが、気持ちは落ち着きこの時期を乗り越え、早く終息がきたらいいと思っております。

今日の会議が、段取り良く進めばよいと思っております。よろしく願いいたします。

## 3. 第2次南丹市男女共同参画行動計画ヒアリング結果について

### <事務局より

「第2次南丹市男女共同参画行動計画ヒアリングシート」に基づき説明>

議 長 16 ページの 16 地域活動における男女共同参画の推進 保健医療課の報告では、月4回の実施、年間になると48回となる。力を入れて担当課の事業と上手く併せ実施されている。成果がでていると思う。

他課では、1回の実施もあるので、事務局ではどう考えているのか。

事務局 今年度から、第2次南丹市男女共同参画行動計画となり計画を進めています。しかし計画ですので大きく変わることはないのですが、18ページの審議会の女性の登用の割合は、各審議会でのパーセントを記載していますが、全体では今年度（4月1日現在）22.8%と報告をしております、過去3年間では、ほぼ横ばいの微増となっております。

また、新たな取り組みがなかなか出来ていなかったが、とりわけ男女共同参画については、約20年前は女性が頑張るということでありましたが、現在では、女性だけでなく男性も頑張る時期にきているため、男性向けの事業を膨らましていくことを考えています。保健医療課でも報告により実施がありました、「男性の料理教室」を人権政策課でも積極的に行い複数回の実施を検討しています。もう一点は、既存の団体の方は、男女共同参画のことを勉強されていますが、新たな方々の取り込みが出来ていないことが課題であり、来年度は、講座・セミナーの開催を検討しています。規模は、小さくなりますが人権政策課独自で実施します。

委員長 ぜひとも新たな事業を実施してください。

男女共同参画という言葉は、皆の中には馴染んできていると私は思う。ヒアリングを毎年実施することで、意識し、気が付けばパーセントも上がっていけばよい。

委員 セミナーの開催は、男女共同参画にも関心を持ってもらうことも出来るので大変よいことで期待します。

呼びかけは、不特定多数だと思いますが、既存の団体にも声をかけていただきたいと思えます。

事務局 講演会は、広く市民に伝わるよう講師を選びお願いしますが、セミナーは、男女共同参画、子育て、起業について等（スキルアップなど）に特化したメニューで講師をお願いし少人数での開催を行います。

委員の方で、実施してほしいテーマ・講師などがありましたら事務局までお伝えください。

委員長 セミナーは、参加者が少人数でも仕方がない。実施することが大事だと思う。

委員 小さいところからの実施も大事であると思えます。

私の住まいは、高齢者が多い地域であり、家の中のことはまだまだ女性がやら

なければいけないなどと言われる方が多い。地域の場所を借りたセミナー開催もお願いしたい。また、日程が決まればすぐに知らせてほしい。

委員 男の料理教室は、包括支援センターも八木会場で行っている。  
しかし女性の参加が多く、男性は常連化している。  
私ごとですが、今回のコロナで学校が休校になった時も小学生を持つ私は今後子供たちをどうしようと考えたが、夫は何も危機感がなく温度差があったとても残念でした。  
テレビでも、「男の子でしょ 頑張っ、男の子は泣かない」など未だにそのような言葉を放送されている。

事務局 料理教室は、参加者が固定化すると考えられますが、つながりができ、また広げられればと思います。反応は、他市でもよかったと聞いております。

委員 28 ページの女性のネットワークづくりの支援について、それぞれのグループが活動されていますが、拠点場所は必要であると思います。

事務局 自由に活動されているグループもある中で、後援等については申請があれば受理はいたします。許可後は、お知らせなんたん掲載など連携しています。

委員 「園部女性の館」も、名称の変更、講座についても男性が参加いただける場を考えていきたい。

委員 私の地域では、馴染みある「女性の館」という名称を、残してほしいとの声を数名から聞いている。

事務局 両方のご意見を頂いて、方向性を考え議論をしていけばよいと考えます。  
また条例があるので、議会に諮る必要があります。

委員 委員の男女割合では、PTA役員決めで、幼稚園・小学校までは、女性の割合が多くなっていたが、色々な方の意見も聞くことがいいので、男女比を決めた。話し合いをすれば男女の役員が出るようになった。  
目標%に近づけるためには、女性が何人かを決めて委員選出をしてもらうなど最初は強制的なやり方も必要があると思う。

事務局 各種団体からの委員選出は、専門職での選出枠が決まっているため制限があり

ますが、女性の登用については、ある程度縛りをつけることは大事だと思います。トップの考え方が必要と考えます。

委員 「園部女性の館」の話がありましたが、私の職場の方も男性は入れないと思われています。しかし名前ではなく、男性でも参加しやすい、また初心者でも参加できる事業の展開があればと思います。

実際、男性が参加していれば、他の男性も参加しやすくなると思います。

議長 本日の委員会は、ヒアリング結果の報告となりました。

## 5. 閉 会

副委員長 本日は、第2回の委員会ヒアリング結果の報告でした。貴重なご意見を頂きありがとうございました。

平成30年度で行動計画を作成、今年度は第1回目のヒアリングでした、次年度からはPDCAのサイクル行動を起こす年となります。南丹市男女共同参画、男性、女性が参加できる事業の展開をお願いいたします。

本日は、大変ご苦勞様でした。